



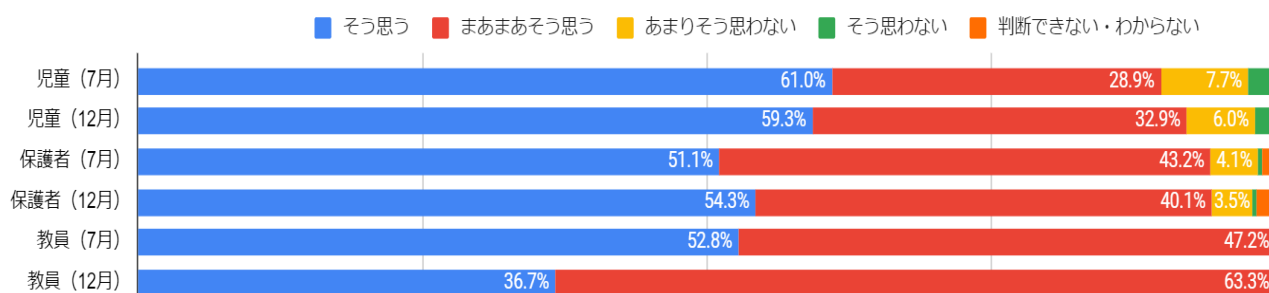
## 令和5年度 学校評価のご報告

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。このたび、令和5年度の学校評価についてご報告いたします。皆様からいただきました評価および自由記述での意見を次年度の教育活動に生かしてまいります。

\* ホームページ、sigfy では、グラフをカラーで見ることができます。

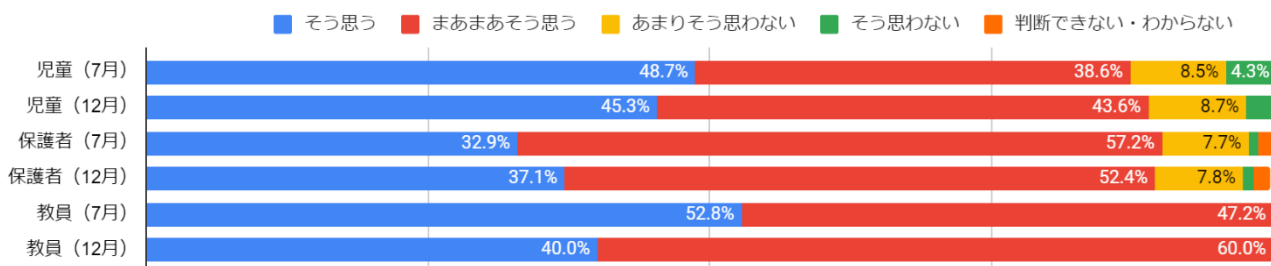
### 【評価内容と集計結果・分析】

児童は、学校生活を楽しいと感じている。(児童：学校生活は、楽しい)



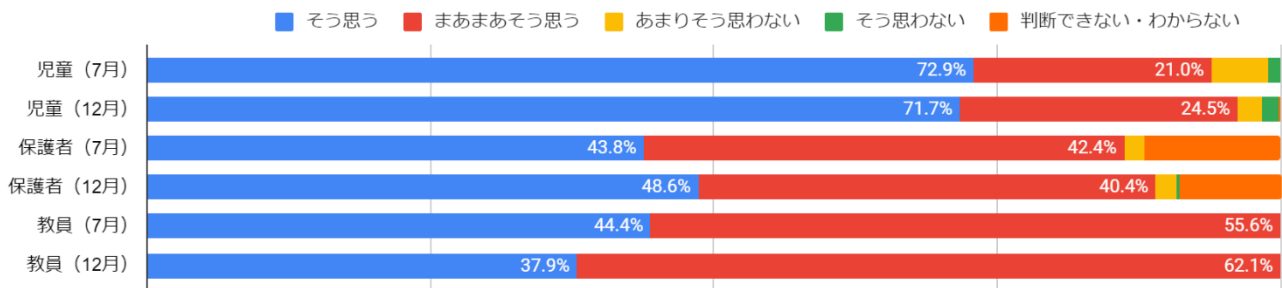
大人から見えている姿よりも少なくはなりますが、約90%の児童が学校生活を楽しいと感じています。保護者の方の肯定的な意見と共に昨年度よりも多くなりました。ここ数年で見ると上昇傾向にあります。コロナ下での制限がなくなり、中止になっていた行事や活動を行うことができたことも前向きな気持ちにつながっていることが考えられます。学校生活を通して、児童相互の関わりを一層大切にしながら、どの児童も学校が楽しいと感じられるよう工夫していきます。

児童は、学習の基礎・基本を習得している。  
(児童：漢字や計算などの基礎的な学習は身につけている。)



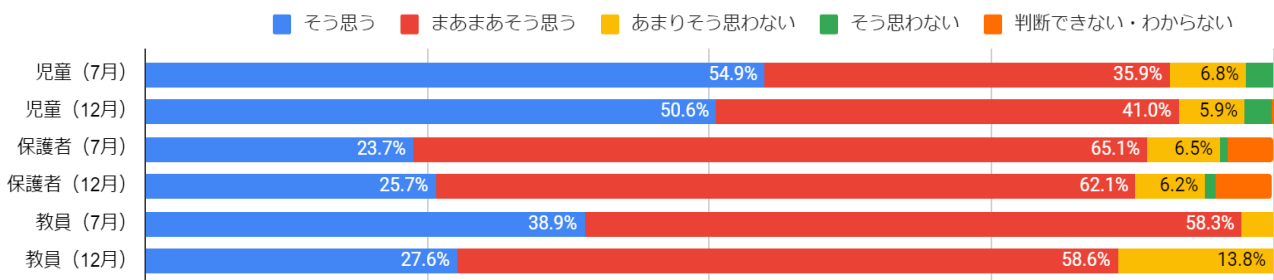
児童・保護者・教員とも8割を超える高い結果となりました。学校で学習したことを家庭学習で定着を図ったり、学校では、理解できなかったことをご家庭でもフォローをしたりしていただいた結果であると考えています。ご協力いただきありがとうございます。一方で「あまりそう思わない・そう思わない」と回答した児童が10%程度います。その中には、「理解はしているものの自信がない。」という児童や、「学習についていくのが難しい。」という児童もいます。近年、学習が分からないことで、更なる困り感をもつ児童も少なくありません。一人一人に寄り添った指導を実施することや、保護者の方と連携を図り、児童の特性にあった学習の仕方について相談をさせていただきたいと思っております。

学校は、分かりやすい授業を工夫している。（児童：先生の授業は、分かりやすい。）



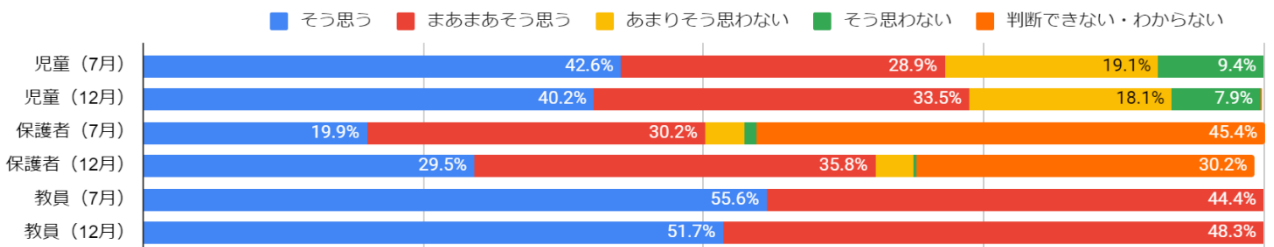
三者の中では児童による評価が最も高く、「そう思う・まあまあそう思う」で 9 割を超えています。教員は、「分かる授業づくり」を実現するために、区内の教科研究会に参加したり、校内研究授業年7回を実施したりしています。校内研究授業の実施に当たっては、児童が下校した放課後に各学年で繰り返し教材研究を重ね、よりよいものとなるように検討をしています。その他にも、年間8回のOJT研修の取組や教員同士が授業を見合ってアドバイスする取組、有志によるICTを活用したミニ研修を自主的に行う取組など、児童が見ていない部分での教員の取組を評価していただきうれしく思います。

児童は、集団生活のきまりを守り、場に応じた挨拶や言葉遣いが身に付いている。（児童：あいさつや言葉遣いなどに気を付けている。）



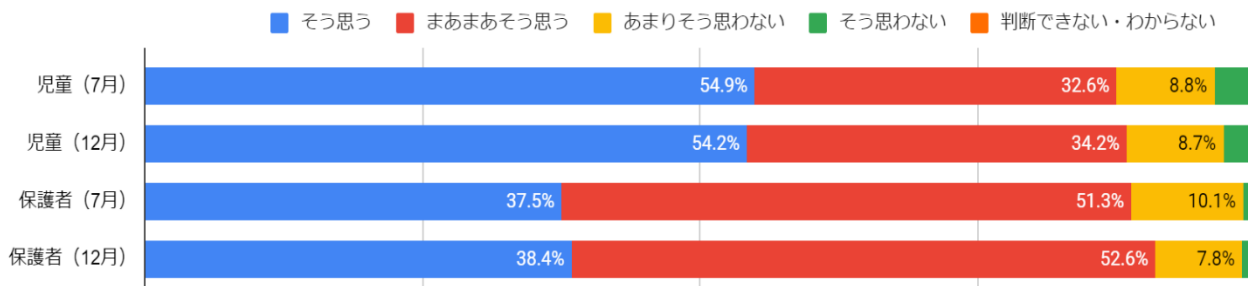
児童自身の肯定的な評価が昨年よりも上がっています。一方、教員の「そう思う」の評価が低くなっています。全校朝会が校庭に集合する形で行うことができるようになり、人と人との関わりが増える中で、教員から見るとコロナ以前にできていたことがまだ身に付いていないと感じることが多いかもしれません。特に気持ちのよい挨拶を身に付けることは社会に出てからも役に立つことですので、来年度へ向けての課題としていきたいと思えます。

学校は、子供同士のトラブルに適切に対応し、早めに解決できるよう努力している。（児童：困った時に先生に話することができる）



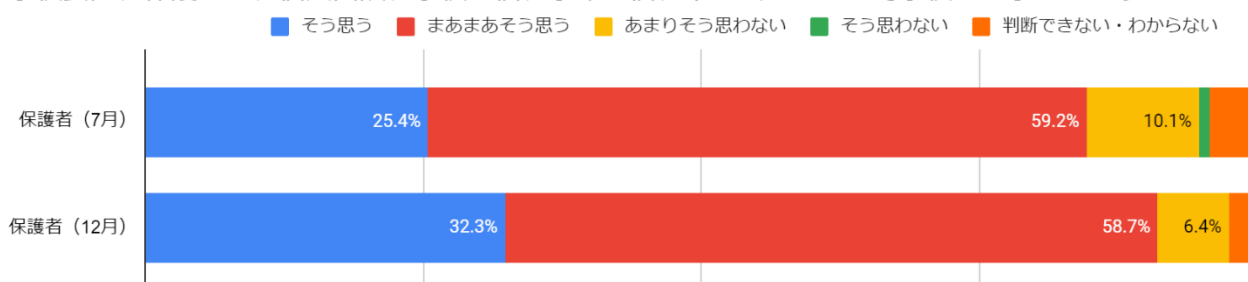
児童と教員の評価は昨年度よりも高くなっていますが、保護者の方の評価が低くなっています。自由意見にも個別の例で指摘をいただいています。年 3 回のアンケート調査と聞き取りやカウンセラーとの全員面談等の児童の思いを汲み取る仕組みは年々整えられていますが、保護者の方とのコミュニケーションが十分ではないかもしれません。学校では、担任だけでなく多くの大人の目で子供たちを見守り、トラブルに対して適切に対応できるよう努めていきます。

児童は、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはんなど）が身に付いている。  
 (児童：早寝・早起きをして朝ごはんを食べている。)



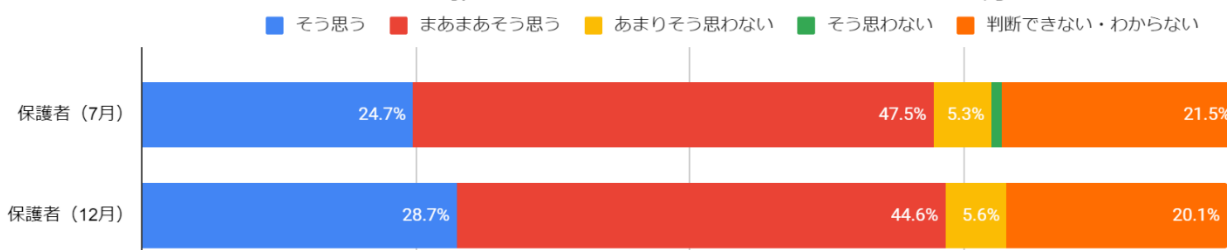
昨年度と比べ、児童の評価がとても高くなっています。コロナ下での制限のある生活が終わり、ご家庭の生活リズムも整いつつあることも大きいのでしょうか。しかし、「家庭学習」や「生活習慣」について課題を感じているご家庭も少なくないようです。「言わないとやらない」という課題もよく耳にします。学校と家庭の連携を深め、児童の意欲の向上につなげていきたいと思えます。

学校公開、保護者会、個人面談、学校通信、学年通信、ホームページ等で学校の様子が分かりますか。



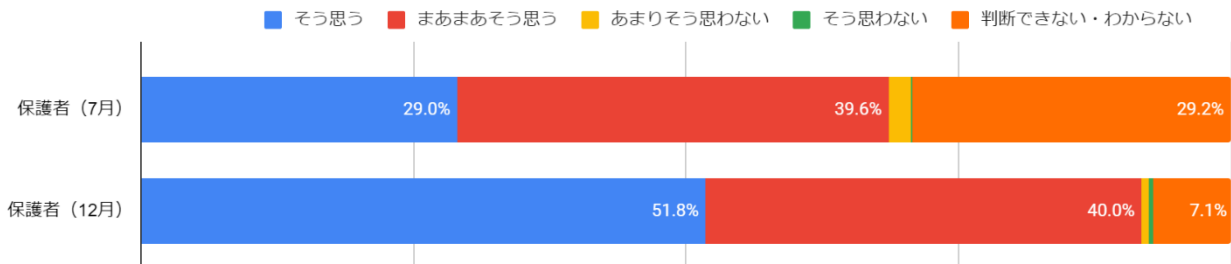
7月、12月ともに「そう思う・思う」が8割以上を超える高い結果となりました。今年度から学校だよりの形を変更しましたが、自由意見での反応も他学年の情報なども分かるので好評でした。一方で、月行事予定をもう少し早めに知らせてほしいという意見をいただきました。学校便りの発行日は従来どおりとしますが、月行事予定を翌月の第1週頃まで記載するようにします。

安全・安心ボランティアの活動を推進するなど、連携による安全確保は十分であると思えますか。



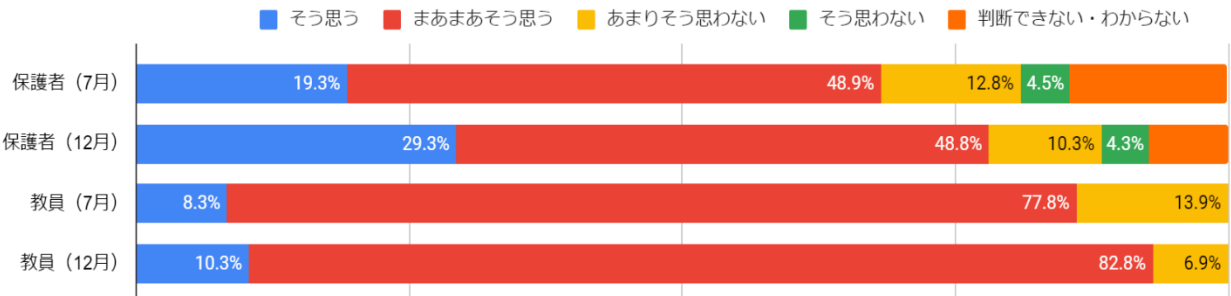
昨年度よりも肯定的な回答が多くなっています。安全・安心ボランティアの方々の活動がより活発になり、登下校時の道路の安全確保や休み時間の見守りをしてくださっています。保護者の方の旗振りなども含め、地域・保護者の方に守られていると感じます。門や校舎の作りなど学校だけでは決められないこともあります。マンパワーで改善できるところは毎年検討をしています。

台風・降雪等の緊急時の対応は適切になされていますか（学校連絡メール、ホームページなど）



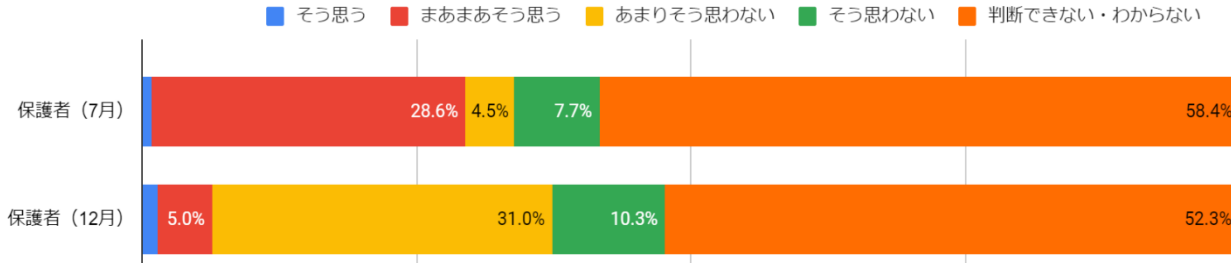
7月よりも12月の方が高い数値となりました。また、昨年度のデータは今回提示しておりませんが、昨年度の12月のデータと比べると、15%と近く上昇しました。今年度から、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染者拡大による学級閉鎖の情報を当該学級だけではなく、全校・全学年で情報共有したことが大きな要因ではないかと思えます。

社会の変化に対応した学校行事の見直しは、適切に行われていると思いますか。



8割近くの保護者の方が「そう思う・思う」と評価をしていただきました。一方で2割の方が「そう思わない・判断できない・わからない」と回答をしました。・ICT機器を活用した教育活動、外国語教育など学ぶべき内容が増加しました。国・都・区をあげて取り組む働き方改革も含めて、確実に進みつつある社会の変化に対応した学校行事の見直しも必要であると本校では考えています。学校を取り巻く状況を考慮しながら、児童が主体となった学びの時間をどうしていくか今後も、検討していきたいと思えます。

学校の進める教員の働き方改革は、適切に行われていると思いますか。



2回のアンケートの結果より「判断できない・わからない」と回答した保護者の方が半数を占めています。2月の初めに、東京都教育委員会と練馬区教育委員会発行のプリントを配付させていただきました。社会の変化に対応した学校改革をすすめていく時期になっています。保護者の方には全てにおいて直ちにご納得いただける内容にはなっていないこともあるかと思えます。保護者会等の機会にご説明をいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。